

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年5月8日	記入者		連絡先	3816
平成18年度部名	消防本部	課名	予防課	課長名	岩田 進一
平成19年度部名	消防局	課名	予防課	課長名	岩田 進一
事務事業名	相模原市防災協会補助金				
予算上の事務事業名	相模原市防災協会補助金				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			23130	
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				
施策名	第3施策 消防力の強化				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
3 個別計画の概要					
計画名	なし				
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	▼		5 事業開始年度	平成9年度 ▼	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
市民と行政が一体となった防火防災活動の充実を図るため、運営費の一部を助成する。				社団法人相模原市 防災協会	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
自主事業					
1 消防及び防災に関する知識の普及、啓発事業					
2 消防及び防災に関する調査、研究事業					
3 消防及び防災に関する講習会の開催					
4 市民及び事業所に対する防火防災に関する指導育成事業					
7 関連・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	24,842	26,819	26,315	28,924	28,924
一般財源	24,842	26,819	26,315	28,924	28,924
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	0	0	0
事業コスト合計	24,842	26,819	26,315	28,924	28,924
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	消防及び防災に関する知識の普及、啓発事業 (防災講演会)			対象名称 と単位	防災講演会(人)
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	389	383	553	590	590
対 象 数	400	450	400	450	450
単位あたり経費(円)	973	851	1,383	1,311	1,311
前 年 度 比		0.88	1.62	0.95	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	防災講演会 聴講者数の目標達成率100.0		指標式と 指標の説明	防災講演会に聴講した人の目標人数に対する割合	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	400.0	450.0	400.0		
目標	450.0	450.0	450.0	450.0	450.0
目標達成度（%）	88.9	100.0	88.9		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	出火率 4.4		指標式と 指標の説明	出火率は人口1万人あたりの火災件数、火災の出火率を全国平均以下とする。相模原市3.4（18年中）全国平均4.5	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	4.1	3.4	3.4		
目標	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
目標達成度（%）	107.3	129.4	129.4		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[ ]	：良好な状態を維持する事業			
	[ ]	：概ね良好な状況である事業			
	[ ]	：見直しを行う必要がある事業			
	[ ]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		市民と行政が一体となった防火防災活動の充実を図るため、防災協会の運営費の一部を助成し、防火防災活動を積極的に支援し、充実、発展することは、市民が安全に暮らせる都市の実現を推進することができる。 市の行政を補完する役割を担う法人として、今後も継続的に人的、財政的に支援を行う必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
自主事業を積極的に支援し、拡充・充実を図る。 また、防災協会へ各課から10事業が委託されているが、各課と調整を図り、委託業務を精査し、さらに効率化を図る。			事業内容について、より効果的な啓発事業等が要求されることから、既存事業の充実及び会員、市民のニーズに応じた事業を展開すること。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		効率的な事業の実施に努めること。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			